

新潟公務員法律専門学校

学校自己点検・評価報告書 (2020年度)

2020年度

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目		評価	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。 上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	3
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	4
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	3
	4	各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	4
	5	各学科の教育目標・育成人材等像は学科に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか。	4

<1. 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標> 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

SDGSが目指す「持続可能な発展」という新たな世界基準の下で我が国の将来を背負って立つ若者の教育は、単に国家百年の計に止まらず、世界百年の計である。そのため、高等教育機関には人類の未来を決定付ける極めて重要な使命が課せられている。その中で専修学校専門課程は「職業教育を通じ、社会の中核メンバーたる自立した若き職業人を育成する」という重責を担い、且つその完遂をもって社会貢献を果たす存在である。よって本学の教育理念・教育目標の要諦は、この使命の自覚と責任遂行にある。環境・宗教・民族問題など混迷の度を深める現代社会における羅針盤たる人財の育成を目指し、常に克己するを忘れず自己改革を続ける所存である。

(2) 取り組み内容

- ① 学生に対する教育理念の周知
 - ・入学時に配布する「学生の手引」に記載、新入生オリエンテーションにて周知。
 - ・年度当初に学校長からの各学科に対する「激励の言葉」にて周知。
 - ・各教室に「校訓」および「科訓」等の貼り出しを行い周知。
- ② 教職員に対する理念の周知
 - ・新年度開始に先立ち、学校長による新年度運営方針、各部署/各学科担当による方針発表会(12月～3月期)にて明文化し周知。
- ③ 学外に対しての明文化・公表
 - ・保護者に対しては、入学式後の保護者会にて明文化し公表。
 - ・学校パンフレット/HPでも明文化し公表している。
 - ・オープンキャンパス(学校説明会)などでは一層詳細に説明している。
 - ・定期的に保護者に送付する「保護者通信」にも教育理念を掲載している。
- ④ 各就業期間の教育目標等の文章化・提示
 - ・学内に対しては「学生の手引」に記載し提示している。
 - ・学外に対しては学校パンフレット等にて記載し提示している。
- ⑤ 各学科の教育目標は業界のニーズに向けて方向付けられているか。
 - ・講演会やインターンシップなどの各種課外活動を通じ現職公務員と接し、最新のニーズを把握している。
 - また、奉仕の心を育成するためボランティア活動にも積極参加させる教育方針をとっている。

(3) 今後の課題と改善方策

コロナ禍の中、対面式の入学式/保護者会が開催できず、周知機会を逸した。後日、対面/文書で周知したが効果は薄かったため、次年度は対面式を再開し、ビデオメッセージも用意する。

2 教育の内容 自己点検・評価項目			評価
各学科の教育目標、育成 人材像に向けたカリキュラ ムの作成等の取り組みが されているか	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。	4
	3	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	4
	4	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	4
	5	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	4
各学科の教育目標、育成 人材像に向けた教授学習 プロセスの改善への取り 組みがされているか	6	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	4
	7	結果に基づく教員面接を実施しているか。	4
	8	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	4
	9	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	4
	10	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	4
各学科の教育目標、育成 人材像に向け業界ニーズ に対応した付加的教育の 取り組みがされているか	11	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	3
	12	キャリア教育などをおこなっているか。	4
	13	ビジネス教育などをおこなっているか。	4
	14	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みをおこなっているか。	3
	15	リメディアル(導入前教育、補習)教育をやっているか。	4
	16	企業・地域・行政との連携を図っているか。	3
各学科の教育目標、育成 人材像に向け教員の資質 維持や向上に向けた取り 組みがされているか	17	教職員の研修計画が作成されているか。	4
	18	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	4
	19	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	3
	20	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	3
	21	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	3

＜2. 教育の内容＞ 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

カリキュラムは教育理念・教育方針を具現化したものであり、具体的で数値的な教育目標の設定に不可欠である。また本校の場合、学校生活の大部分は座学授業の受講であるため、実習系授業以上に通常の座学が人間教育／人材育成の場として有効活用されることが求められており、カリキュラムは恒常的に点検がなされている。その点検には学内関係者のみならず学外関係者各位からの協力を得ることで客観性の担保が可能と考えており、各学科のカリキュラムは外部関係者の意見も反映しながら作成されている。またシラバス(授業計画書)はカリキュラムを具体化するものであり、各科目の到達目標とそこに至る道筋が明確化されることで、各担当者は常に前向きに創意工夫を凝らし授業改善に取り組み、結果として授業の硬直化が防止され、学生は授業に対し高いモチベーションを維持するようになる。以上、本校ではカリキュラムとシラバスは表裏一体として捉え、常に評価点検と改善努力を怠らないよう努めている。

(2) 取り組み内容

①カリキュラム作成の取り組みについて

企業等の外部関係者を交えた「教育課程編成委員会」を組織し、以下の手順で実施している。

- ・官公署に広くアンケートを採り各官公署が求めている人材を的確に把握
- ・全体会で、学校長によるカリキュラム作成の根本理念・方向性・作成の仕方などの意識統一を実施。
- ・学科会で、各学科メンバーの意見・提案を収集したうえで、学科主任がカリキュラム案を作成。
- ・作成されたカリキュラムを教務部長がチェックし学校長へ説明。
- ・作成したカリキュラム案を主任会で各学科主任がプレゼン、その後複数の目による縦的・横的チェックを実施。
- ・外部機関を交えた「教育課程編成委員会」にてカリキュラム案を説明し、委員からのアドバイスを反映。
- ・上記過程を経て、各教科担当がシラバスを作成。HP上に公開している。
- ・PDCAサイクルとして「教育課程編成委員会」にてカリキュラムの実施報告を行い、次年度の課題を把握。

②教授学習プロセスの改善への取り組みについて

「授業アンケート(外部業者作成)」を年間2回採り(1回につき担任クラスと担任以外のクラスで実施)、その結果に基づき以下の内容を実施している。

- ・各教員が各自のアンケート結果を分析、それをレポート化し提出。
- ・特に評価の低い教員に対しては、教務部長が面談を実施。
- ・その他、アンケート評価の高低にかかわらず、授業スキル向上のための「教授法勉強会」の実施や、学科単位を越えた「科目研究会」を月1回実施し授業の質向上を絶えず図った。

③業界のニーズに対応した付加的教育の取り組みについて

「公務員試験突破」を目標とする学校ではあるが、専修学校専門課程として「自立した職業人の育成、社会・職業への円滑な移行」という使命を完遂するため、特に以下の内容に注力し課外学習とその指導に取り組んでいる。

- ・自らの「気づき」によって自立した人材育成を行うため、モチベーション向上の意味も兼ね、「実践行動学」研修に就学期間を通して取り組んだ。
- ・官公署視察研修、およびグローバルリーダー育成のための海外視察旅行を計画。

※視察研修・旅行の主な実績

「事務系学科・コース」・・・都／特別区、各市町村での研修はコロナ禍により受け入れ中止で実施できず。

「公安系学科・コース」・・・警察／消防／海上保安庁／自衛隊等の視察研修も同様。

(個人的に申し込み、受け入れを許諾され見学した例が数件あった。)

- ・インターンシップ実習の実施

※コロナ感染拡大の影響により実施期間は夏季休暇ではなく後期にずれ込んだ。実施箇所も減少。

1県庁／12市役所／12小・中学校(学校事務)／1県警／5消防

- ・年間を通じてボランティア活動への積極的参加を推進

※視察／インターン同様にコロナ禍により大幅減少。以下は主な実績。

「事務系学科・コース」・・・万代シティボランティア(ばんにやい)。個人申し込みによる福祉施設等。

「公安系学科・コース」・・・防犯パトロール(県警連携)／新潟市学生消防団

- ・外部団体により各種講演会を実施・・・地方公共団体等による講演会は原則リモート実施となった。

- ・産学官連携事業の積極的推進・・・新潟市都心の都市デザイン、研究・発表会実施。

- ・技能資格の取得・・・簿記／英語／パソコン／漢字など

- ・非常勤講師との情報共有は新型プラットフォームのSNSで対応。

(3) 今後の課題と改善方策

2020年度は新型コロナウイルス感染症の全国的拡大により教育活動にも大きな制限がかかった。

上述の通り実習系課外活動は大幅な減少をとり、経験値を稼ぐ代替活動もなく、学生の受験には大きなロスだった。

今後同様の事態が発出した場合ん位備え、現在は各種外部団体のリモート研修への積極的参加を促している。

座学もリモート技術／質は大きく向上し、対面／リモートの切り替えは常時可能となり、危機管理面でも改善著しい。

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目			評価
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	4
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	4
	3	就職支援を行う指定された場所があるか。	3
	4	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	4
	5	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	4
	6	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	4
	7	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックされているか。	3
	8	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	4
	9	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	4
	10	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	4
	11	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4

<3. 教育の実施体制> 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

この評価分野は主に教育実施の環境整備・危機管理となることから、基本的な事柄で実施できていないものは実施し、その他、必要に応じて項目を追加しながら取り組んでいく。
また一段と進む情報化に対応するため、端末機器を利用した教育活動の一層の推進を図るための校舎環境も整備していく。

(2) 取り組み内容

- ・組織機能図・・・組織全体図、防災組織図、校務分掌担当図、清掃担当図など、必要組織図として機能している。
- ・年間スケジュール・・・学校全体スケジュール、各部署・学科スケジュールを作成している。
- ・就職支援・・・無料職業相談所として指定教室を設けるとともに、試験情報などの資料も整っている。
- ・喫煙に関して・・・改正健康増進法の全面施行により校舎内／校舎敷地内は全面禁煙とした。
- ・環境エコ活動・・・「学生の手引」に記載すると同時に、教育活動に支障のない範囲でのこまめな消灯、クールビズによる節電、清掃の徹底など行っている。
- ・保険加入・・・学生総合保険に加入している。
- ・新型コロナウイルス対策・・・日々の検温、マスクの恒常的使用、健康管理徹底と報告を義務化。校舎内各所に消毒液を配置し教室内は換気も徹底。また行動履歴を把握するなど学生を日常生活を管理指導している。
- ・清掃に関して・・・クラス掲示用の統一的な掲示物を作成し、学生全員が共有する学内ルールはもちろん各学科ルールも設けクラス掲示を行い、担当が定期的にチェックをしている。また責任の明確化から各教室入口に教室責任者の名前を掲示している。
- ・実習時の安全管理に関して・・・各学科の課外活動内容を検討し、安全管理マニュアルとして文書化している。
- ・防災・防犯設備・・・在校生分の「防災具」を設置している。
- ・端末環境整備・・・リモート講義／講演会の送受信の確実性を担保するため校舎内回線容量増、社内LAN無線化。「公務員Webトレーニング」「スタディサプリ」といった自主学習アプリも提供している。

(3) 今後の課題と改善方策

- ・評価項目10に関して、水／食料の備蓄は継続検討課題。また、地域の避難所としての役割も同様である。
- ・新型コロナ感染拡大防止のため、一層の管理体制強化と報告の徹底、検査キット備蓄や検温モニタ設置等を行う。

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目			評価
各学科の教育目標、育人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標設定したか。	4
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	4
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	4
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	4
	5	対外部に向けた就職実績を公表していますか。(パンフレット、HP等)	4
	6	評価・成績に関する目標を設定したか。	4
	7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	4
	8	評価・成績に関して記録がなされているか。	3
	9	評価・成績に関して検証・報告がされたか。	3
	10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	4
	11	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	4
	12	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	4
	13	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	4
	14	退学率の目標を設定しているか。	4
	15	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	4
	16	退学結果に関して検証・報告がされたか。	3
	17	退学者数を公表しているか。	4
	18	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	4

<4. 教育目標の達成度と教育効果> 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

教育活動の達成度は目標設定から結果が出るまでの過程の検証であり、言い換えれば各種の戦略検証という学校運営の質が問われる項目である。教育目標の達成は学生の夢の実現可否に直結するものであり、重要項目として捉えている。同時に、各戦略の背景には、当然ながら学校の教育理念や方針があり、ために学校の根本を問う内容と言ってよい。以上から、この項目は学校全体で共有し、要点を次年度に活かす必要があると考えている*。

(2) 取り組み内容

- ・初期段階での各種の目標設定・全体共有に関する特記として、各学科が統一フォームの「ビジョンシート」を作成し職員会(方針発表会)を通して共有化と意識統一を図った。
- ・就職活動に関する特記として、公務員試験等、就職試験受験後は学生各自が統一された報告書を記入し提出・保存することで、次年度への合格ノウハウの積み上げを行っている。
- ・評価・成績・検定に関する特記として、「成績評価原簿」や各種のミニテスト・模試等の結果のデータ化を行っており、その結果をもとに、随時クラス運営体制や補講体制を柔軟に変化させ、その効果を科会などで検証し、「学科・クラス運営報告書」や授業報告書、検定報告書に記載・報告・共有を図っている。
- ・各種の実績はタイムリーにホームページに公開している。
- ・退学に関しては、経済的事情や学力・モチベーション的な事情、その他、精神的事情など複数要因が存在することから、最善の方策がとれるよう教務部長への即時の報告を徹底し、外部のカウンセリングや保護者との連携を密にした。
- ・教育実績(検定や公務員試験の合格状況)、就職実績(公務員・一般企業)、退学者数など、ホームページで公開した。

(3) 今後の課題と改善方策

- ・評価項目6～13の評価・成績・資格・検定に関しては、各学生の目標に対する現状などを記載した「個人の記録」を作成し、成績表に添付することを検討する。

5 学生支援 自己点検・評価項目			評価
各学科の教育目標、育成 人材像に向けて入学前 から卒業後まで学生支援 が整備され組織的に行わ れているか(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	4
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	4
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	4
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	4
各学科の教育目標、育成 人材像に向けて入学前 から卒業後まで学生支援 が整備され組織的に行わ れているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	4
	10	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	4
	11	学生の面談・相談記録があるか。	4
	12	定期的に健康診断を行っているか。	4
	13	奨学金制度等の経済的支援があるか。	4
	14	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	3
各学科の教育目標、育成 人材像に向けて入学前 から卒業後まで学生支援 が整備され組織的に行わ れているか(卒業後)	15	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	4
	16	卒業生への職業紹介をしているか。	3
	17	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP、学校便り等)	2
上記以外を通じての学生 支援	18	学校情報を保護者に知らせているか。(HP、学校便り等)	4
	19	学校情報を高等学校等に知らせているか。(HP、学校便り等)	3

<5. 学生支援> 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

学生支援は「入学前・在校時・卒業後」にかかわらず、学校運営理念を元にそのあり方を捉えるべきものと考えている。建学の精神にもとづく本学の使命、その人材育成や教育などの理想的なあり方の延長線上に、学生支援も存在するものと認識している。

(2) 取り組み内容

- ・評価項目1～8までの入学前支援に関する特記として、公務員セミナーや早期授業・課題送付など、入学前からの基礎学力向上に努めている。
- ・評価項目9～16の在学時支援では、学園全体で産業カウンセラーを配置することで支援体制をとっている。同時に学生に対しては担任による定期面談、更に保護者との計画的な面談(三者面談)を行っている。
- ・高等学校や企業等への情報提供は、ホームページに「高校教諭の皆さんへ」「企業関係者の皆さんへ」などの項目を設け学校状況を発信するとともに、高校教員に向けては「教員セミナー」において情報提供を行っている。
- ・卒業生で再度、公務員試験にチャレンジする場合、希望があれば面接練習などを行っている。

(3) 今後の課題と改善方策

- ・卒業生への情報提供として今後、校友会ホームページを充実させることで周知を行いたい。
- ・保護者への情報提供は学科通信／三者面談に加え、HP内での各種情報公開とメール配信を開始した。

6 社会的活動 自己点検・評価項目			評価
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	4
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	4
	3	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	4
<p><6. 社会的活動> 自己点検・評価報告</p> <p>(1) 本学の考え方 この大項目(社会的活動)も学校運営理念から派生するものである。学校がその存在意義を日々追求しながら、公務員分野の専門学校として社会的活動のあり方を常に模索することが求められる。</p> <p>(2) 取り組み内容 ・評価項目1に関しては、地域貢献として「防犯パトロール」を通年に渡り、月2回のペースで万代・新潟駅・古町エリアで実施。また小中学校の運動会・遠足ボランティア、学生消防団への加入、新潟マラソン・アルビその他各種ボランティアや官公署からの依頼事項にも積極的に参加している。 ・評価項目3に関して、公務員を目指す高校生へ無料のセミナーを内外で開催している。</p> <p>(3) 今後の課題と改善方策 ・コロナ対策と遠方生徒の利便性向上のため、YouTubeにて本校の無料セミナーを公開。</p>			

7 管理運営 自己点検・評価項目			ランク
学校の管理・運営体制が 確立していること	1	理事会が定期的開催されているか。	4
	2	評議員会が定期的開催されているか。	4
	3	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	4
	4	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	4
	5	決裁規程が文書化されているか。	4
	6	人事規程が文書化されているか。	4
	7	人事考課制度は文書化されているか。	4
	8	昇進・昇格制度は文書化されているか。	4
	9	賃金制度は文書化されているか。	4
	10	採用制度は文書化されているか。	4
	11	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	4
	12	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	4
	13	定期的に防災訓練を実施しているか。	4
	14	個人情報保護規程が文書化されているか。	4
	15	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	4
	16	公印管理簿があるか。	4
	17	出退勤管理簿があるか。	3
	18	教職員の健康診断がされているか。	4

<7. 管理運営> 自己点検・評価報告

(1) 本学の考え方

管理運営に関しては学校運営上、最低限クリアしておかなければならない内容である。よって全項目すべて成されるよう体制を整える。

- ・防災・防犯対策に関して・・・通年で最低1回、火災・地震・津波を想定した避難訓練を行っている。
- ・出退勤管理簿に関して・・・教職員個人々人に対する管理簿と校舎への最初の出勤者、最後の退勤者の管理簿がある。
- ・学生・職員ともに遅くとも19時には全員が学校から帰宅するよう内部ルールを実施している。

(2) 今後の課題と改善方策

- ・政府の「働き方改革」の指針に従い、業務の効率化を推進している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークを推奨し実施している。

2020年度

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

8 財務 自己点検・評価項目			評価
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4
	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
	3	財務についての会計監査が適切に行われているか。	4
	4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
	5	物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	4
	6	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	3
	7	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	4
<8. 財務> 自己点検・評価報告 財務状況は、学校法人全体として、健全な状況で運営するための中長期的視点に基づき計画・執行されており、適切な外部監査も受けている。また情報提供に関しても、学校法人として収支計画を立てていることため、法人単位での提供を行っている。 備品については管理番号をつけてリスト化している。			

2020年度

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

9 法令等の遵守			評価
法令等に則り運営が行われているか。日々運営の改善が行われているか。	1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
	2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか。	4
	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
	4	自己評価結果を公開しているか。	4
<9. 法令等の遵守> 自己点検・評価報告 法令、設置基準の遵守に関しては、法人本部が所轄官庁との対応窓口になり行っている。また所轄官庁からの通知も法人本部から学校に通知されている。 個人情報に関しては、学生の手引等で明文化し学生に対しての周知も行われている。 自己評価に関しては、学生アンケート／教職員アンケート／保護者アンケートを実施し、それをもとに改善に取り組んでおり、その結果は保護者等に通知されている。また学校関係者評価もホームページで公開している。			